

令和5年度第3回古賀市総合政策検証会議 議事要旨

【開催概要】

開催日時：令和6年1月22日(月)19:00～20:05

開催場所：オンラインによるリモート開催（事務局：古賀市役所501～503会議室）

出席者：

（委員）南委員長、豊貞副委員長、大庭委員、橘委員、長委員、鶴委員、伴委員、藤井委員、吉岡委員、清水委員、松見委員（全員オンライン参加）

（事務局）野村副市長、総務部長、市民部長、保健福祉部長、建設産業部長、教育部長、経営戦略課長、経営戦略係長、経営戦略係主幹 経営戦略係員

【議事・要旨】

1. 副市長あいさつ	
2. 委員長あいさつ	
3. 審議事項	<p>(1) 地方創生推進交付金令和4年度事業に関する検証</p> <p>事務局：資料1に基づき説明</p> <p><委員からの質問事項></p> <p>(質問)</p> <p>令和5年度に事業を展開してきた中で令和4年度の取組以外、あるいは特徴的な動向があれば教えてほしい。</p> <p>→ (回答)</p> <p>令和5年の年末の状況で説明させていただくと、インキュベーション施設への入居企業数については、企業が12社、個人事業主が3社となっており、企業12社の内訳は県外企業4社、県内で市外の業者4社、市内の企業が4社とバランスよく入居いただいております。インキュベーション事業を推進できている。</p> <p>リビングラボについては、3回のピッチトークイベント、3回のチームビルディングを行っている。チームビルディングについては、プレーヤーの方々に市の課題について取り組みたい内容を発表してもらい、それについて共に取り組んでいくという協議まで進んでいる。今後2月に市長も参加しての発表会を予定している。</p> <p>公式YouTubeチャンネルの登録者数は年末年始に1,000人を超えた。登録者数が1,000人を超えているチャンネル運営者が全体の10～20%程度と聞いているため、今後市の取組をPRするにあたり、それが届く媒体が順調に伸びていると評価している。</p> <p>(質問)</p> <p>インキュベーション施設に入居しているが、ネットの速度回線が遅く、途切れることがある。資料記載の内容ほど利用者は実感していないかもしれない。現在の企業数含め今後誘致拡大するのであれば、速度回線は非常に重要だと思う。改善策等あるか。</p> <p>→ (回答)</p> <p>導入時点では、ニーズを満たせる速度の物を導入しているが、速度が遅いという意</p>

<p>見があるのであれば確認させていただき必要に応じて対応していきたい。</p>
<p>(2) デジタル田園都市国家構想推進交付金令和4年度事業に関する検証について</p>
<p>【地方創生テレワークタイプ】 事務局：資料2-1、4に基づき説明 <委員からの質問事項> (質問) 令和4年度のKPIは達成だと思うが、令和5年度のKPIは達成できそうか。 → (回答) こちらのKPIが各年度の積み上げとしている。現状見込みとして、ワーケーションプログラムは既に自走した取組が行われており、快生館の運営企業を中心とするPR効果により達成見込みと考えている。また、国、県と連携したワーケーションの取組も進めており、昨年夏にはワーケーションをしたくても予約が取れないといった状況になっている。「コミュニティイベント開催回数」と「起業創業マインドの醸成セミナー及び起業家育成講座開講回数」は現状達成が少し困難かと考えている。要因としては、コミュニティイベント開催や起業家支援に取り組んでいる企業は、快生館に常駐しているわけではなく、イベントの時に利用している状況である。まずはこの県外企業に快生館の利用を増やしてもらいこういった取組に継続して取り組んでもらうことが必要と考えている。</p> <p>【デジタル実装タイプ】 事務局：資料2-2、4に基づき説明 <委員からの質問事項> (質問) 今の利用状況は目標をかなり下回っているが、利用できる時間は何時から何時までか。 → (回答) 平日が7~20時、土日が8~18時となっている。土日は1台での運行のため昼休憩等で待ち時間が発生する場合もある。</p> <p>(意見) タクシーがなかなか捕まらないなどの現状もあり、良いシステムだと思うので利用者がどんどん利用しやすいようになれば良いと思う。 → (回答) アプリ内のアンケートや地域の説明会で乗降場所を増やして欲しいとの要望もあったため2月から12ヵ所増設予定であり、より利用者が増えればと思う。</p> <p>(質問) 古賀市の全体的なデジタルやDXの戦略を教えてほしい。</p>

→ (回答)
来年度ロードマップを作成予定。庁内ではペーパーレス化など進めているが、市民へのサービスには紙が多いとの意見もいただくので、窓口の事務の軽減も含めて市全体としてまずは電子化を進めている状況。電子決裁も来年度以降導入が始まっていく予定である。

(意見)
他の自治体であれば VR の行政に取り組んでいるところもある。デジタル化しようとするが他がやってないことをしようとするぐらいでないと、先駆的な取組にならないし、先駆的な人材を呼び込むことにもならないと感じている。失敗しても良いので未来的なことを取り入れても良いと思う。

→ (回答)
民間事業者との実証実験として、介護施設の職員がお店に行き介護施設の入居者は施設から職員の方の視線で映像を見ながら買い物をするという、スマート農業に関する取組や、3D プリンターを企業と共同で使ってもらったり、AI ロボットを使って授業をするなどの取組を行っている。

(3) 第5次総合計画アクションプラン（令和6～9年度）原案
政策・施策ごとの現状と課題の整理

事務局：資料3-1、資料3-2に基づき説明

<委員からの質問事項>

(質問)
資料3-2、1ページ、3番に外国人の方が今後増加する予測の記述があり、住む場所が問題となると感じている。現在、外国人の方の住いの確保といった住宅政策について議論されているか。

→ (回答)
古賀市には工業団地や企業が多くあるが、古賀市独自の外国人の方の住宅政策は行っていない。基本的には企業にアパートなどを借りていただき、そこに数人で住んでいただいているケースが多い。以前は国の公務員宿舎があり、そこを外国人の方のために確保してはどうかとの議論もあったが、立ち消えとなった。現在は外国人の方の住宅政策はない状況である。

(意見)
古賀市はまだ空き家の率はそこまで高くないと思うが、全国的に空き家の問題が広がっている国も住宅セーフティネットとして空き家を活用し、外国人の方に優先的に貸し出す制度を新しくつくっているところであり、そういった仕組みが古賀市でも必要でないかと感じた。

→ (回答)
古賀市の外国人の方は右肩上がりに増えている。また、古賀市内各地でマンションや住宅の造成が始まった。外国人を含めたところで住宅供給については今後検討し

	<p>ていきたい。</p> <p>(意見)</p> <p>オーナー様の意向もあり、外国人の方に家を貸したがないケースがあることが商工会全体でも問題になっている。工場のある地帯においては近隣で外国人の方が住めない現状や花鶴団地を含め遠くから自転車で通っている現状がある。市の今後の開発で、現在外国人の方が自転車で通っているエリアが今後物流団地となる。オーナー様が外国人を受け入れやすい環境として、例えばごみの出し方を含めた教育、外国人の自転車マナーの教育を今後徹底しなければ、物流団地はどんどんできて、教育が整ってない状況は怖いと思う。交通ルールの教育を重点的に取り組んでほしい。</p> <p>→ (回答)</p> <p>外国の方が住まわれてコミュニティの中でごみの問題などが起き、市の方へ問合せが来ることも多い。古賀市では同規模の自治体ではあまりない多文化共生の係を設置し、様々な取組をすすめている。やさしい日本語ということで外国の方にも分かりやすい日本語の取組を進めており、外国の方を集め、ゴミの出し方の講座を開くなど、意見いただいたところについて周知、啓発に努めている。自転車の乗り方についてもやさしい日本語を通じて周知を図っていきたい。</p>
4. その他	事務局：次回の審議会の日程調整の案内